省エネルギー・新エネルギー部
新産業・社会システム推進室
03-3580-2492

バーチャルパワープラント構築事業費補助金

平成28年度予算額　29.5億円（新規）

事業の内容

事業目的・概要

- 東日本大震災後、従来の大規模集中電源に依存した硬直的な供給システムを脱却するとともに、急速に普及している再生可能エネルギーを安定的かつ有効に活用していくことが喫緊の課題となっています。
- こうした状況に対応するため、高度なエネルギーマネジメント技術により、電力グリッド上に散在する①再生可能エネルギー発電設備や②蓄電池等のエネルギー設備、③ディマンドリスポンス等需要家側の取組を統合的に制御し、あたかも一つの発電所（仮想発電所）のように機能させる実証事業等を実施します。
- また、エネルギー設備や需要家等の地理的な分布が与える影響についても検証します。
- こうした創エネ、蓄エネ、省エネを最適に組み合わせることにより、再生可能エネルギーの導入拡大、更なる省エネルギー・負荷平準化を図ります。

成果目標

- 平成28年から平成32年までの5年間の事業を通じて、50MW以上の仮想発電所の制御技術の確立等を目指し、更なる再生可能エネルギー導入拡大を推進します。
- また、節電した電力量を売電できる「ネガワット取引市場」（平成29年までに創設予定）における取引を見据えたアグリゲーターの機器制御技術の高度化を図ります。

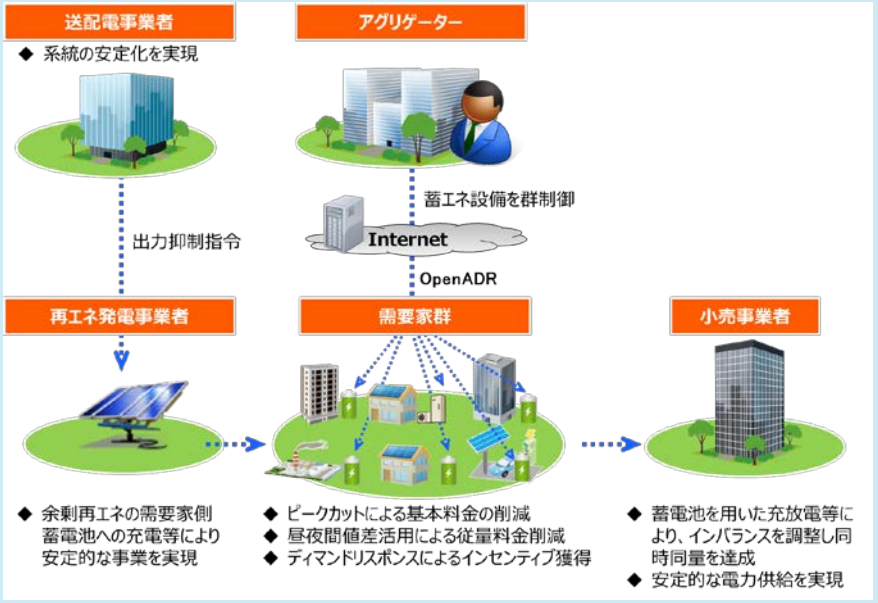
条件（対象者、対象行為、補助率等）

補助　　補助（定額、1/2）

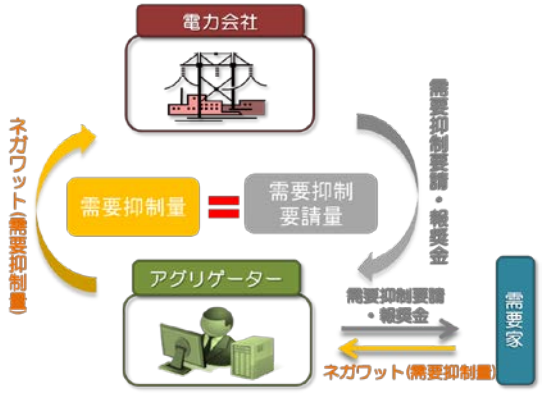
国 → 民間団体等 → 民間事業者等

事業イメージ

事業例①：蓄電池等のエネルギー設備を活用したビジネスモデルの確立



事業例②：高度制御型ディマンドリスポンス



◆ 送配電事業者が要請する需要抑制量に対して、アグリゲーターは過不足のない需要抑制を確保できるよう、複数の需要家から需要抑制量を集めて整形

◆ 確度の高いネガワット取引を実現することで、送配電事業者が調整力に用いることが可能に